

令和5年度 デジタル田園都市国家構想交付金

(地方創生推進タイプ) の効果検証について

事業Ⅰ：持続可能な地域を育む人材育成事業（広域事業）

(1)事業概要

令和5年度より令和7年度までの3年間で、東紀州5市町の連携事業として、持続可能な地域を育む人材育成事業として取り組み、子どもだけでなく様々な年代が、その地域の財産である地場産業や文化を含めた様々な学びの機会を官民協働で支援する仕組みづくり、環境整備と充実化に取組み、併せて若者や移住者が働く上での受け皿である地場産業の強化を行い、地元を深く知ってもらい、地元を愛していただくことで若者の定住に繋げるだけでなく、都市部での情報発信を行うことで、地元に戻ってきたい、この地域に住みたい方を増やすことで、地元を愛し地元で根付く人材育成を目指しております。

「取組①：地域での学び・体験の支援」

「取組②：子どもの学び・体験の支援」

「取組③：地域に根付く担い手の受け皿づくり」

「取組④：地域の魅力の情報発信」

(2)令和5年度 KPI（重要業績評価指標）達成状況（5市町全体）

交付対象事業名	KPI 設定数	KPI 達成数	備考
持続可能な地域を育む人材育成事業（広域事業）	3	2	（連携自治体） 紀北町、尾鷲市、熊野市、御浜町、紀宝町

KPI（重要成果指標）		2023年 （令和5年度）	2024年 （令和6年度）	2025年 （令和7年度）
1	東紀州地域内の高等学校等卒業後の地元就業率	単年度目標値	7.20%	8.35%
		単年度実績値	9.80%	-
2	移住に係る行政窓口を活用した東紀州地域への移住者数	単年度目標値	73人	86人
		単年度実績値	154人	-
3	第1次産業をはじめとする地元の産業及び伝統文化等の体験学習回数	単年度目標値	119回	119回
		単年度実績値	110回	-

内 御浜町実施分

総事業費 6,622,000 円（内交付金充当額 3,311,000 円）

KPI（重要成果指標）		2023年 （令和5年度）	2024年 （令和6年度）	2025年 （令和7年度）
2	移住に係る行政窓口を活用した東紀州地域への移住者数	単年度実績値	26人	-
3	第1次産業をはじめとする地元の産業及び伝統文化等の体験学習回数	単年度実績値	32回	-

OKPI の達成状況

KPI「第1次産業をはじめとする地元の産業及び伝統文化等の体験学習回数」のみ未達成

(3)事業の効果

5市町全体での効果としては「東紀州地域内の高等学校等卒業後の地元就業率」および「移住に係る行政窓口を活用した東紀州地域への移住者数」の二つのKPIが年次目標を大きく上回るなど、順調に推移している。

一方、「第1次産業をはじめとする地元の産業及び伝統文化等の体験学習回数」については、年次目標、119回に対し110回と未達であった。

御浜町の実施効果として、「移住に係る行政窓口を活用した東紀州地域への移住者数」は令和5年度実績として26人と十分な実績であった。また、「第1次産業をはじめとする地元の産業及び伝統文化等の体験学習回数」が32回であり、こちらは想定を下回った。これは御浜町で予定していた定例の学習会が、学校側のカリキュラムの変更等の理由により実施できなかったためである。

※「東紀州地域内の高等学校等卒業後の地元就業率」は御浜町単独効果では評価できない。

以上により、一部未達の状況にはあるが、5市町全体として、また、御浜町単独としても一定以上の効果があったと考える。

(4)今後の取り組みについて

御浜町地方創生推進会議等での評価・検証を踏まえて、令和6年度以降も現事業については継承する形で地方創生推進交付金を活用した事業を実施します。

事業2：観光DXでかがやく、観光地域づくり事業（広域事業）

(1) 事業概要

ポストコロナにおいて旅行者の観光に対する価値観が多様化する中、当地域に多くの旅行者を誘客し、観光消費額を拡大させるため、旅行者の多様なニーズを分析し、効果的な施策を講じることが求められています。

また、当地域の観光を取り巻く課題は、人口減少等により不足する担い手、低い宿泊客の消費額、不十分な観光資源の利活用、自立途上の観光地域マーケティング等山積しており、従来の手法のみでは解決が難しい状況にあります。

これらの解決を目指し、デジタル技術を取り入れた「ポストコロナにおける観光DXを活用した新たな観光のカたちづくり事業」及び「持続的なヒトづくりに向けた観光ガイド整備事業」を一体的なプロジェクトとして実施することで、持続可能な担い手の育成、消費額の拡大、新たな観光コンテンツの創出による観光資源の魅力向上、持続可能な観光地域マーケティング等に取り組めます。

(2) 令和5年度 KPI（重要業績評価指標）達成状況（5市町全体）

交付対象事業名	KPI 設定数	KPI 達成数	備考
観光DXでかがやく、観光地域づくり事業（広域事業）	2	1	（連携自治体） 紀北町、尾鷲市、熊野市、御浜町、紀宝町

KPI（重要成果指標）			2023年 （令和5年度）	2024年 （令和6年度）	2025年 （令和7年度）
1	東紀州地域における観光消費額	単年度目標値	14,100百万円	14,800百万円	15,500百万円
		単年度実績値	16,276百万円	-	-
2	観光コンテンツアクセス回数	単年度目標値	200回	1,400回	3,800回
		単年度実績値	168回	-	-
3	デジタルマーケティング参画事業者による業務改善数	単年度目標値	-	5回	15回
		単年度実績値	-	-	-
4	システム参入宿泊施設数	単年度目標値	-	-	20施設
		単年度実績値	-	-	-

内 御浜町単体分

総事業費 1,000,000円（内交付金充当額 500,000円）

(3) 主な効果

東紀州地域振興公社を通じ、5市町広域で取組む事業であり、デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）を活用し、東紀州地域映像・音声ガイド整備事業、デジタルマーケティング運用支援事業、インバウンド対応観光ガイド整備事業に取り組めました。

効果として、地域での滞在時間を延ばすことでの消費拡大、語り部を利用しないライト層への訴求力を高め新規顧客の裾野を広げる、満足度の向上による再来訪などが考えられます。

(4) 今後の取り組みについて

御浜町地方創生推進会議等での評価・検証を踏まえて、令和6年度以降も現事業については継承する形で地方創生推進交付金を活用した事業を実施します。